

# 力作がいっぱい

—夏休み作品展—



  
 編集発行  
 羽津北小学校  
 PTA広報部  
 印刷  
 阿竹印刷工業(株)

第 12 号

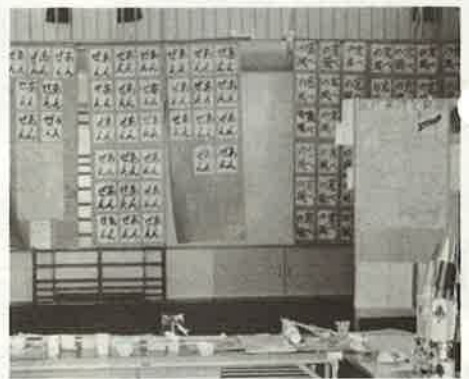
## 夏休み作品展を終えて

教諭 平田 佐康

体育館の壁やフロアーには、  
 画・工作・習字・社会や理科の自  
 由研究の作品・家庭科の手芸作品  
 等々たくさんの子どもの苦心  
 の作が展示されました。いずれも  
 夏休み、暑いさ中に材料や題材に  
 工夫をこらし、一生懸命作り、書  
 き、研究したものばかりです。

夏休み作品展。昨年度は、体育  
 館もまだ建設中で、たくさん作品  
 を、展示する場所がないという  
 ことで、社会や理科の自由研究作  
 品を、理科室に展示したにすぎま  
 せんでした。しかし、今年は、新  
 しい、りっぱな体育館も完成し、  
 「せっかくだも子どもたちが作った作  
 品。できることなら、全作品を展  
 示してやりたい。」という、多くの  
 先生方の意見をいただき、今回の  
 ような形で実施する運びとなりま  
 した。

作品の一つ一つを見ていると、  
 子どもたちが、一生懸命取り組ん  
 でいる真剣な姿が、目に浮かんで  
 来ます。何事に対しても、自己の



## 立派にできた

### 通学路

去る七月三十一日、先生・役員  
 の方々のご協力により、校舎南側  
 の通学路のぬかるみ解消のため、  
 「コンクリート平板を敷く作業をし  
 ました。

今までは、少しの雨でもぬかる  
 んで、子ども達の足下が土でドロ  
 ドロになり、雨の日の通学に大変  
 支障をきたしていました。

約千個の平板を横三列に敷き並  
 べる作業は、暑い中でのこと大変  
 な作業でしたが、皆様のご協力に  
 より、立派な通学路が完成しまし  
 ました。これからは、雨の日も、子ど  
 も達の通学の足下が、ぬかるむ事  
 もなくなるでしょう。

猛暑の中での、重労働にご協力  
 いただきまして、ありがとうございました。

(環境部)

有らん限りの力をふりしぼり、挑  
 戦していける前向きな姿勢を、も  
 ち続けてくれる子どもたちに、育  
 つてくれればと願っています。  
 このような企画を、是非毎年続  
 けていきたいと思います。  
 最後にになりましたが、開催期間  
 中、たくさん保護者の方々の御  
 参観をいただき、子どもたちも本  
 当に喜んでいました。ありがとうございました。



# 地区懇談会を終えて

夏休みを前に、去る六月二十七日より七月八日まで、第一回地区懇談会が、地区市民センター副館長・自治会長・民生委員の方々の出席を得て、八地区において開催され、各会場とも盛況裏に、終了しました。

映画「十代の非行と親の責任」を鑑賞後、特に、夏休みについて、通学路・生活指導・非行の問題等、学校からの要望、地区からの要望が、熱心に話しあわれました。



## 八田一・二地区

★子どもの店

十月より開設の予定で準備を進めている。

★P新聞けやき

保存方法を考えてほしい。

★集団登校

立哨をなくしたが、六年生がしつかりやってくるので、上手に登校している。

★水泳教室

この夏の水泳指導で、泳げなかった子どもが、何名位一五メートル以上泳げるようになったか教えてほしい。

★雨ガッパ

雨天時のカッパの干し場に困っている。何か名案はないだろうか。



## いがるが地区

★通学路

現在使用中の橋の上での横断には、問題があるので、危険のない適当な所を検討してほしいとの意見がありました。本部としても市の方へ陳情中である。又、立哨を中止し、子ども達だけで通学しているが、子ども達だけでも、立派にやってくれるようになった。

★地区子供会との関係

地区子供会と町別児童会の統一

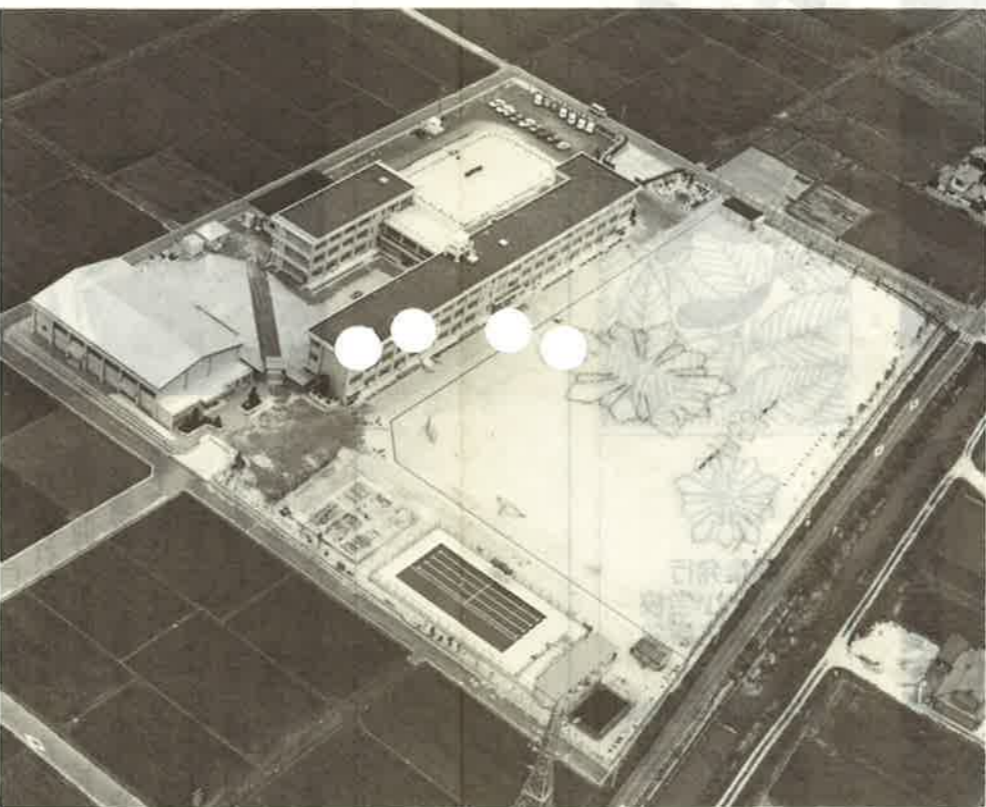
## 八田三地区

★教師のサラリーマン化

現在の先生方は、先生の職に付いてからの勉強等ははされているのか。又、就職後すべに他の教師と同じ仕事をするが……。この点については、毎月各ブロックごとに勉強会があり心配はありません。

★通学路の信号機設置について

羽津地区の各団体が一体となって、警察に陳情書を出す準備を現



在しておりませんが、すべには無理なようです。

★朝の集団登校について

集合場所への集まりが遅い子どもがいるために、出発がとれる。この件については、時計を見て親が子どもを追い出すようにする。

## 霞ヶ浦・白須賀地区

★通学路

現在の通学路は、大雨が降ると冠水し、道と田との区別がつかない時があり、大変危険である。

米洗川堤防を、通学路に出来ないだろうか。市には、歩行者専用道路を作してほしいと、陳情をしているが、将来はともかく、現段階では無理である。

★夏休みの生活

集団生活、社会生活の規範が家庭生活であり、お互いの立場で協力しあい、家庭を支えているという自覚、家族の一員としての自覚を、子どもに持たせてほしい。そのためにも、子どもが出来る仕事を与え、実施させてほしい。

★非行問題

青少年の健全育成については、役員だけにまかさず、父兄にも理解と協力をお願いしたい。又、隣近所でも愛の声をかけてほしい。その他、給食試食会、遊び場の問題等が話しあわれた。

## 羽津中地区

★通学の問題

五月から、子ども達だけで通学しているが、下校時、低学年の子どもは、道一ぱいになって歩いており、クラクションを鳴らしても気づかないので、学校だけの指導だけでなく、地区の人々の協力もお願いしたい。

★砂ほこり

風の強い時など、校庭の砂が舞い上がり被害があるので、市の方へ要望しているが、各地区からも要望をお願いしたい。

★非行

非行の要素は、四年生頃より出てくる。「めだたない子」「金銭感覚のない子」「物を大切にしない子」等が危険である。

★体罰

子どもの性格によって異なってくるが、感情にはいつては危険である。

## 別名三丁目地区

★通学班の問題

修学旅行中に、五年生に班長がわたされ、通学途中の注意等、適切な指導があり、任された子どもも、きちんと出来たことはよかったです。又、ちよつとした子どもの行動を、きちんと受け止め、評価できる親の姿勢がすばらしいと思う。

★子どもに対する親のかかり方

夏休みには、余裕をもって十分子どもとかわかってほしい。子どもをどのよう家庭生活にかかわらせるか、考えるのも母親の務め、何か一つ仕事を持たせて継続させることが、子どもの成長にプラスになるのではない。

## 別名四丁目地区

★夏休みについて

休み中の計画は、親子で相談し、家族の一員として、子どもの出来る仕事を与えてほしい。

★非行について

父親の無関心が多く、両親もつと子どものしつけに、関心を持ってほしい。子どもの個性をよく知り、子どもにあつた指導が必要である。又、地域社会全体が、子どもの育成に真剣に取り組む、愛の一声運動を展開してほしい。その他、通学路・球技大会・小遣等について、話し合われた。



と。最後に、センター副館長より、家庭での躾が基本であるが、家庭で問題が片付けられない場合は、地域社会で片付けることが必要である。



# 和やかな中にも真剣に！

## 救急法講習会

夏休みのプール開放を控えて、七月十四日午後二時三十分より、本校体育館において、救急法講習会が開かれました。

消防署より、一名の講師を招き、八十名余りの熱心な参加者による、とても有意義な講習会でした。

講習内容は次の通りです。

- 1、応急手当の必要性とその手順
- 2、倒れた場所から安全な場所への移動の方法
- 3、簡単な担架の作り方と用い方（衣類、棒等を利用して）



4、止血の方法

（指圧法、繃帯圧迫法、止血帯）

5、怪我、骨折の場合の三角巾の使い方

6、骨折の場合の患部の固定法

7、人工蘇生法の実際（人形を使つての実技）

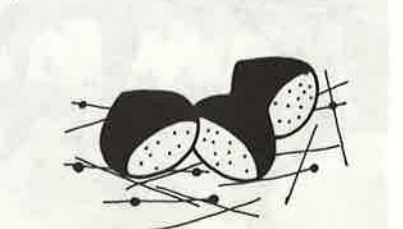
①気道の確保

②活物・嘔物の除去の仕方

③人工呼吸法と心臓マッサージ（保健体育部）



# ケヤキちゃん



## 親子で楽しく

## 陶芸教室

八月二十七日、夏休みも最後の土曜日、十二時半より羽津北小学校会議室で、陶芸教室が行なわれました。土で作る喜びを通じて先生と親子のふれ合いを求めてのタイトルで、今回の企画を実施しました。親子で一〇〇名（内先生二〇名）近くも参加していただきました。

県窯業場長林氏の「陶芸について」の話を聞いた後、当地区の有名な陶芸作家八名の講師の指導のもと、土に取り組みました。

電動ロクロ、手廻しロクロに分かれ、慣れない手つきで、花瓶・茶碗・皿などの制作に励みました。会議室に入りきれず、ホールや廊下に座り、汗だくで始めました。子どもそつちの力で力作に取り組みお田さん。初めての電動ロクロに振り廻され、講師の先生に助けを求めている学校の先生、作品



が気にいらず、やり直しばかりしている子ども達、和気あいあいの内にすばらしい作品が出来上りました。自分の名前も入れ、焼き上り日を楽しみにしています。陶芸に関しての設備が何もなく、開催するまで心配してありましたが、関係者の方々の協力により、大成功に終わりました。

今後、このような楽しい企画が持てたらと望んであります。

（教養部）

## 編集後記

★四十日という数字が、たまらなくすばらしく、珠玉のように思えた永い夏休みも終わり、一学期が始まりました。残暑きびしい中で編集会議を開くこと三回、汗をふきふきの編集でした。

★今号は、一学期末、八地区に分かれて行われました、地区懇談会を特集しました。紙面の都合上、皆様のご意見を十分反映できなかつたことを、おわびします。

★初めての親子陶芸教室。暑い中花びん・壺・茶碗等、個性あふれる作品作りに、汗を流し、有意義な半日を、過ごせたと感じます。この号が発行される頃には、土のあたたかみの感じられる作品が、お手元に……。

★皆様からのご投稿を、お願いします。

（編集子）